

舗装の品質を決定する最新技術

アスファルト密度試験装置

PaveScan



**非破壊でリアルタイムに
アスファルト密度・空隙率を測定!**

**舗装の品質保証 / 管理
道路のほつれ、ひび割れ、
継ぎ目の劣化など
早期不具合の回避に貢献!**

アスファルト締固め評価に革命を起こす

革新的技術

PaveScanは舗装作業中のアスファルトの誘電率を非破壊で簡単・手頃に判定可能です。
舗装プロセス中に発生する不均一性、密度の大幅なばらつきなど舗装作業中に発生する不整合の発見に最適です。

画期的なソリューション

PaveScanは舗装したての道路の不適合箇所を特定するための最も良いアスファルト試験装置です。
誘電率を利用する方法と空隙率を利用する方法の2種類の調査方法があります。
原子力ゲージ・放射性代替物を使用する場合と違い、免許不要で人体無害、作業エリアを閉鎖する必要もありません。

データの映像化

PaveScanの操作はどんな技術レベルのユーザーでも簡単・正確に行えます。
GPSとのシームレスな統合、画面上でのリアルタイムデータ出力、出力オプションなど、このシステムは交通機関や舗装請負業者にとって理想的です。



リアルタイム調査 誘電率表示

PaveScan は舗装されたばかりの道路の誘電率を自動的に計算します。アスファルト混合物の誘電率の変動は、アスファルトの空隙率の変動と相関しています。それにより、PaveScan は締固めにおける異常値や異常箇所を特定し、ユーザーは舗装したての道路の適合性やコア抜きすべき適切な箇所を判断することができます。



PaveScanの特徴

- 頑丈な展開カート - 折りたたみ式展開アーム・作業現場の安全性を確保する高視認性
- 一体型集信装置ボックス - 最大3個のセンサーを搭載可能・ケーブル収納可能
- 新しいセンサー設計 - 過酷な環境用に特別設計・位置精度を高めるグリーンレーザー
- ウォームアップ時間 1分以下
- パナソニック G2 タブレットのシンプルな画面機能により現場での設定を最小限化
- Bluetooth と内蔵 GPS ポールアダプターによる GPS 接続

データ出力例

カラーマップは誘電率測定の結果を示します。
折れ線グラフは3つのセンサーシステムを示しており
各線はセンサーの誘電率出力を表します。



製品仕様

システム

環境等級	IP65
ストレージ容量	512GB
センサー周波数	2GHz帯
動作温度	-20°C ~ 60°C
データ表示モード	折れ線グラフ・データ等高線マップ・ヒストグラム分布
電源	10.8V 8.2AH バッテリー 2個
寸法	1センサーカートシステム：157 x 63 x 111 cm 3センサーカートシステム：157 x 185 x 111 cm
重さ	1センサーカートシステム：36.9 kg 3センサーカートシステム：42.9 kg

タブレット

プロセッサ	インテル® Core™ i5-10310U vPro
利用可能ポート	イーサネット、USB、HDMI
バッテリー	リチウムイオン電池パック (10.8 V) 4時間
動作温度	-28°C ~ 60°C (-18°F ~ 140°F)
画面	10.1インチ WUXGA 1920 x 1200 LEDバックライト付き
環境等級	IP65



コンクリート鉄筋探査機器のバイオン

お問合せ

URL www.key-t.co.jp

KEYTEC

検索

東京オフィス TEL 03-5534-8881 FAX 03-5534-8883
関西オフィス TEL 078-200-5217 FAX 078-200-5227

※このカタログに記載の仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。